

作業環境改善

職場における安全と従業員の健康、さらには地域環境の汚染を防止するため、騒音・化学物質管理を中心に、常に作業環境の点検と改善を行っています。

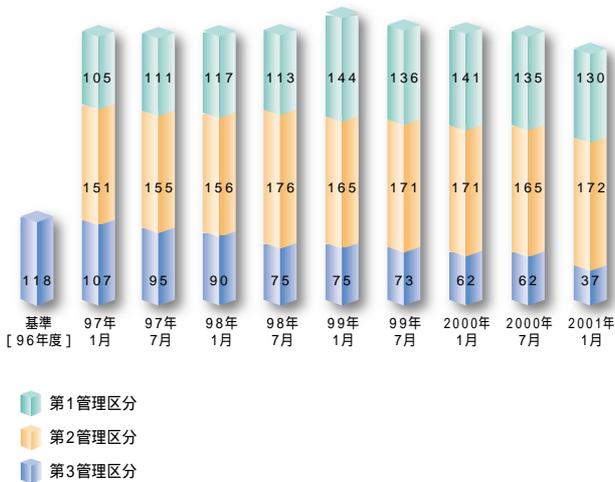
騒音

第3管理区分騒音職場を1996年度基準(118職場)、2000年度に半減する(59職場)目標に対し、2000年度の実績は37職場となり、超過達成することができました。今後もさらに第3管理区分低減に努めます。

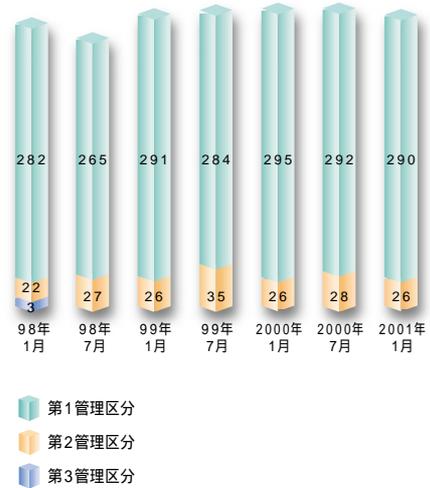
有害物質

有害物質取扱職場(粉じん・有機溶剤・特化物鉛取扱職場)については、現在 第3管理区分職場ありませんが、さらに快適職場創造に向け、環境改善に努めています。

全社騒音職場数推移



全社有害物質(粉じん・有機溶剤・特化物・鉛)職場数推移



作業環境 騒音職場の改善事例(船橋工場)

挿口加工機



改善前



改善後

化学物質管理

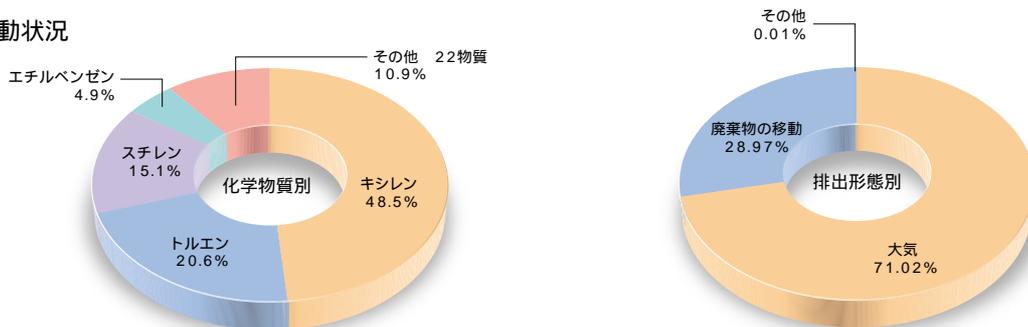
PRTR法第1種指定化学物質354物質の内、当社で使用している届出対象物質は26物質です。排出・移動量の多い物質はキシレン、トルエン、スチレン、エチルベンゼン等です。当社では、化学物質の適正管理により 事業所内郊環境汚染の未然防止に努めると同時に、排出量・移動量の削減に取り組んでいます。

PRTR集計結果(2000年度実績)

(単位:kg/年、ダイオキシン類はmg-TEQ/年)

物質名称	排出量				移動量	
	大 気	公共用水域	土 壌	自社埋立	下水道	場外移動
亜鉛の水溶性化合物	0	0	0	0	35	816
アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	0	0	0	0	229
2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	3,317
石綿	13	29	0	0	62	64,327
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	948	0	0	0	0	1,897
エチルベンゼン	42,255	0	0	0	0	24,864
エチレングリコール	0	0	0	0	0	230
キシレン	597,832	0	0	0	0	71,813
クロム及び3価クロム化合物	205	0	0	0	0	2,220
6価クロム化合物	0	0	0	0	0	555
コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0
ジクロロメタン	7,396	0	0	0	0	0
有機スズ化合物	271	0	0	0	0	2,439
スチレン	44,027	0	0	0	0	165,181
ダイオキシン類	120	0	0	0	0	19
トリクロロエチレン	8,179	0	0	0	0	5,131
1,3,5-トリメチルベンゼン	5,136	0	0	0	0	116
トルエン	273,715	0	0	0	0	10,670
鉛及びその化合物	130	0	0	0	0	10,404
ニッケル	0	0	0	0	0	0
フタル酸ジ-n-ブチル	0	0	0	0	0	121
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	909	0	0	0	0	1,818
ほう素及びその化合物	0	0	0	0	0	829
マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	33,220
無水フタル酸	0.04	0	0	0	0	0.4
モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0
合 計	981,016	29	0	0	97	400,196

化学物質排出・移動状況



管 縦送り装置



改善前



改善後